

府中市生涯学習審議会（平成23年度第1回）会議録

1 日 時 平成23年4月11日（月）午後2時～4時

2 場 所 府中市役所北庁舎3階第1会議室

3 出席者（敬称略）

(1)委員13名

小林 清次郎、坂本 智子、澤井 幸子、設楽 厚子、芝 喜久子、
鈴木 映子、田野倉 晴美、寺谷 弘壬、戸島 忠彦、平形 芳郎、
比留間 一磨、三宅 昭、山内 啓司

※小林 繁委員は欠席。

(2)職員4名

澁谷生涯学習スポーツ課長、
茂木生涯学習スポーツ課生涯学習推進担当副主幹、
市ノ川企画係長、大木事務職員

4 開会

(1)課長あいさつ

本審議会は平成15年度に府中市社会教育委員の会議、府中市公民館運営審議会、府中市生涯学習推進協議会の3つの会が統合して生涯学習審議会となり、今回で第5期となる。今回の審議会のメンバーについては定員15名のうち、再任9名、新任5名、任期は平成23年4月1日から平成25年3月31日までの2年間となっている。次回5月の会において教育長より諮問を頂き、その諮問内容に基づき2年間審議頂き最後に審議会としての答申を作成して頂く。新任の委員の方々には馴染みが薄いかと思われるが、今までの答申の中では、「学び返し」というキーワードがあり、当審議会の第1期において提案され、第4期までこの言葉を中心に様々な答申を重ねてきた。「学び返し」とは、従来の「学ぶ」だけではなく、自らが「学んだ」ことを地域に活かすことによって「返す」、知識を循環させることを目指すものであり、そのことを踏まえながら審議頂ければ幸いである。

(2)委嘱状について

(3)事務局の紹介（澁谷課長、茂木副主幹、市ノ川係長、大木）

(4)委員自己紹介

- 小林（清）委員 公募で選出された。是政在住。昨年まで大学管理部門にいたが退職した。地域でどんな活動ができるのか模索し、大きくて柔軟な組織がないかと考えていた。勤めていた大学は何かあるとすぐに判断力と行動力を結集し、問題を解決することができたが、そこを辞めて個人になると何もできないと痛感した。地域の中においても団塊世代が退職したら組織を作り、皆が知恵を絞り大きな行動ができないかと常々考えていた。「生涯学習」という課題で現役時代に培った経験、知識、技術などをフルに発揮し、何か組織的な行動ができる話をさせてもらったり、自分の考えを理解してもらいたく参加した。皆さんに教えてもらうことばかりかと思うがよろしくお願ひしたい。
- 坂本委員 公募で選出された。日中学院という中国語の学習で初めて認定された学校の図書室に勤務。これまで色々な職業やアルバイトも経験した。現在も度々生涯学習の講座を受講させてもらっているが、とても内容のよい講座もある一方、もう少し工夫できるのでは？と生意気ながら思う講座もある。よりよい講座を府中市で企画してもらえれば自然に「学び返し」という恩返しが生まれるのではないかと思い、自分なりに手伝わせて頂ければと思い参加した。
- 澤井委員 住吉町在住。母体は青少対第八地区で八中を中心に、子どもたちが健やかに成長できるように共に色々な行事の活動をしながら手伝いをしている。再任なので皆さんと一緒に勉強したい。
- 設楽委員 文化団体連絡協議会より出ており、映像連盟の会長をしている。皆さんの意見を十分に尊重し力にして、再出発したい。
- 芝委員 人権擁護委員をしている。紅葉丘在住。今回再任であり、沢山の人が生涯学習で幸せになればと思っている。
- 鈴木委員 若松町在住。紅葉丘文化センターの自主グループから来ている。同じ「文化センター」でも交通の便がよい所では自主グループが活動しようと思っても会場がとれない等の話を耳にするが、紅葉丘文化センターは若干不便な場所のせいか、やや自主グループが減ってきている感がある。なんとか盛り上げていきたい。
- 田野倉委員 分野では福祉になっているが民生委員の3地区の副会長をしている。今回新任なのでよろしく。
- 寺谷委員 「学び返し」でしょうか、4日前に大国魂神社の結婚式場で「エネルギー危機と国際経済」というテーマで話をさせて頂いた。お金をもらって

いるので「学び返し」ではないかも。神主さんも出席されており、今年のくらやみ祭りは小規模でやると聞き、「よくない」と思った。自宅敷地内にあるアパートにも福島の大葉町の人を預かっているが、いつ帰れるのかわからないというので、なるべく東京を活性化したいと思っている。東北の津波と非常に似たものを最近ではテレビで「貞観^{じょうかん}の津波」と言うらしい。平安時代869年に起こり、その5年前に富士山が大爆発し、そのあと面白いことに京都の祇園祭りが始まっている。スサノオノミコトが怒っているからそれを鎮めようということだと思うが、その義理の息子がこのオオクニヌシノミコトだが、府中におけるこの会を通じて、少しでも活性化と人の輪をつなげて早く日本が立ち直ればと思っている。

■ 戸島委員 生まれ育ちは長野県で転勤族だったが、20年前頃から府中に住んでいる。昨年退職し、この委員会の公募を知り教育に関心があったので応募した。「第二次府中市生涯学習推進計画」を初めに見て「なんだろう？」と驚いた。「学び返し」という言葉が1つのキーワードになっているということで、新鮮に感じたのか、この年になってまた1から学ぶのかなと思ったのか自分でもよくわからない。しかしそうではないらしい。そういうものを通じて社会貢献、或いは地域の活動に生かしていく、後継者を育てていく、横のつながりを広げていく、そのようなことが中に入っているのだと少し理解した。また本日横にいる〇〇さんの分野である「ファシリテーター」という言葉も私とすれば初めて。もともと初歩的専門知識もない。しかしながら皆さんに教えて頂きながら勉強させてもらい「学び返し」を通じて地域に貢献し、府中に合ったいい絵が描ければいいなと思っている。蛇足ではあるが、田舎（長野県上田市）に家とわずかばかりの畑と田んぼがある。しかしこういうご時世で作り手がない。春から秋に数回家に帰り草取りをし、去年は少々野菜も作ってみた。

■ 平形委員 浅間町在住。特にグループには属してはおらず40年程府中に住んでいる。現役時代は民間企業におり、定年後は今でも週2回は翻訳の仕事で都心に行っている。浅間町にも他の地域と同じように町会のようなものがあるが、今回のような震災があれば地域のつながりがますます重要になってくると感じた。万一のことがあれば避難所暮らしということもあり得るのだから地域のつながりというのは大事だと改めて痛感した。ファシリテーターという言葉は昨年初めて接した。秋から本年初めにかけて府中市と明治大学が企画したファシリテーター講座が8回あり出席した。大学の先生方の話しということで私としては印象が強かった。簡単に説明すると、生涯学習の意義やコーチングスキル、カウンセリング及び、ビジネスにも繋がる地域のネットワーク作りな

どという話であり、30人くらい受講したが、皆さんそれぞれよかったという感想を持っておられた。その時主宰されていたのが本日欠席の小林先生で、最終回の時に、学習をファシリテートすることで人と人とをつなげる地域づくりをやる、ということをおっしゃっていた。そういう言葉の使い方なのだと今も記憶に残っている。今後とも引き続きよろしく。

■ 比留間委員 スポーツの方からきている。この委員会には何期か出ているのだがスポーツを通して生涯学習を見たり意見したりしていこうと思っている。先程くらやみ祭り中止の話が出たが、今年のゴールデンウィークはどこかに行けるかなと思ったのだがそれも無理のようだ。府中生まれ、育ちなのでずっとくらやみ祭りに長く関わってきたため、ゴールデンウィークにどこかへ行ったことがない。祭りをやらないからといってどこかへでかけるというのもなんとなく不謹慎のような気がしている。今年もまた少し祭りに関わるような気がしている。

■ 三宅委員 市民の社会活動の中で市が開設しているNPOボランティアセンター（グリーンプラザ1F）で活動している。柴町在住。刑務所の隣なので朝起きると刑務所内の運動掛け声が聞こえてくる。そんな場所に住んでいるがそういう関係はあまり得意ではないのであしからず。

■ 山内委員 西府町在住。7年程ボランティア活動の事務局を生涯学習センターの中（悠学の会）でやっている。他にも二箇所ボランティアに行き、同じような講座をやるNPO法人や講座を映像で流したりする団体でボランティアをやっている。家でゴロゴロしていても仕方ないと思ったのがきっかけである。もともと化学分野出身であり現役時代は色々なことをやらされたが、それがもととなり今の事務局の仕事ができるようになったので頑張っている。生涯学習センターの指定管理者制度への移行というのが市報にも出ているので、来年あたりを目標にして皆で頑張っていかないと、せっかくやってきた活動も全く日の目を見ないことになっては困るので、頑張っていかなければと考えている。

(5) 正副会長選出

正会長 前期に引き続き、芝委員が全員一致で再任された。

副会長 三宅委員が全員一致で推薦された。

5 審議事項

(1) 配布資料の確認

- ①レジュメ、②生涯学習審議会委員名簿（資料1）、
- ③府中市生涯学習審議会条例（資料2）
- ④府中市生涯学習審議会条例施行規則（資料3）
- ⑤社教情報 第64号、⑥みんなの生涯学習 No.103

(2) 社会教育委員の選出について

以下のとおり意見交換が行われた。

[意見の趣旨] ■：委員 ➡：事務局

- 初めの方もいらっしゃるので、事務局より社会教育委員の説明を頂きながら進めたい。
- ➡ 当審議会は先ほども説明があったように3つの会が重なっているところであるが、その中の社会教育委員について今回選出頂きたい。社会教育委員については社会教育法に基づく中で府中市の社会教育に関する事項について協議頂き、また様々な研修会や総会などにご参加頂き社会教育に関する知識を広めて頂いて市の社会教育スタッフに反映させて頂くための委員である。こちらの委員については資料にあるように、生涯学習審議会条例第7条にあるように「第一項 審議会に社会教育分科会を置き、社会教育法第13条の規定により社会教育委員の会議の権限に属された事項、その他社会教育に関する事項について調査、審議する。第二項 社会教育分科会の委員は社会教育法第15条第二項の規定により府中市社会教育委員とし府中市社会教育委員の定数は8人以内と任期は第4条の2年の任期とする」と定められているので、今回着任頂いた15名の委員の中から8名を社会教育委員としてご選出頂きたいと考えている。
- 8名の選出に関して立候補して下さる方はいらっしゃるか。或いは事務局に案はあるか。
- ➡ 資料には書いていないが、基本的には近隣自治体との研修会や講習会などが委員としての活動の中心になってくると思う。前年から引き続き、引き受けていらっしゃる方には是非お願いしたいと考えているが、新任の方でも知識を広めたい、輪を広げていきたいという方がいらっしゃれば妨げることはないのでは是非積極的にご参加頂きたい。再任の方だけでお願いすると全部で9名いらっしゃる。公募3名の方については今後2年間の任務ということになっているので、是非この機会にご参加いただきたいと考えている。残り5名については再任の方をお願いしたいと考えているが、いかがか。
- 今の考えでよろしければ、挙手で立候補お願いします。

- ➡ 挙手して下さった方は、小林（清）委員（新）、坂本委員（新）、澤井委員（再）、芝委員（再）、鈴木委員（再）、戸島委員（新）、三宅委員（再）、山内委員（再）。以上8名でよろしいか。→全員一致

具体的に言えば、社会教育に関する勉強会、研修会が多くなる。しかしながら委員さん以外の方にも参加頂く場合があるので、特別仕事が多くなるということではない。総会などにご出席頂き、報告して頂くことはある。

- 生涯学習審議会委員すべての方に研修の場はありますのでよろしくお願ひしたい。

(3) 都市社連協定期総会 出席者について

- 事務局より説明をお願いします。

- ➡ 東京都市区町村社会教育委員連絡協議会の略称である。近隣の市区町村の社会教育委員の定期総会が4月16日（土）午後13時より武蔵村山市（今年の会長市）市民会館さくらホールで開催される。年一回の大きな定期総会であり、（26市を分けた5ブロックのうち府中市が属しているのは「第5ブロック」であるのだが）第5ブロックの研修報告や特別講演などがある。特別講演の内容は「学びあい、育ちあい、関わりあう地域を包み込むネットワークづくり」となっている。急なお願ひで申し訳ないが、総会に出席頂ける方を選出して頂きたい。先程決定した8名の中からご出席頂ける方はいらっしゃるか。もし参加できなくても事務局のほうで出席し、後日資料等を審議会でお配りすることはできる。

今回の内容を詳しく申し上げますと、平成22年度事業決算報告、本年度の都市社連協全体の事業計画などの議案がある。そのあとに研修会として「学びあい・・・」というタイトルで講演会がある。交通手段等については後程。例年だと総会が1時間程度、講演会が1時間半程度、質疑応答も含めて全体で3時間程度。

芝会長、小林委員、坂本委員、澤井委員、戸島委員、山内委員の6名にお願ひした。（事務局で申し込んでおく）残り2名の委員には委任状を渡す。

(4) 今後の進め方について

- 諮問が次回出るという形の中で、「今後の進め方」という審議が入っているが、諮問内容によってまた変わるのではないかと思う。そういう中で「今後の進め方」などというとなかなか難しいと思うので、この審議会が今後二年間、「こんな風にあるといい」、或いは新任の方は次回に向けて何か希望等お話頂ければ、次回の審議に生かして行きたいと思うが、いかがか。

- 諮問にもよると思うが、部屋の中だけの話し合いではなく、ある1つの課題でどうしても見ておきたいとか、他市でこういうことをやっているという情報があった

ら実際に見て来る事も大切だと思う。以前、杉並や八王子に行ったことがある。参考になるような事があれば他の町に行って「見て、聞いて」参考にしたらいいと思う。

- 外に出てみると、府中市と違う形で生涯学習を進めている地域もあることがわかる。支援にも近い部分もあると思うので、そのことも視野に入れながらやっていきたいと思う。
- 今年の3月まで熱心にやって頂いた方々をどういう風に取り込んでいくのか。金銭的な問題もあると思うが、任期が終わったからといってせつかく一緒にやってきた方々を切ってしまうような仕事ではない。年に1回か2回、何らかの形で繋げて行く方が無駄がないのではないかと思うが、いかがか。
- 前任の委員から会議の場ではなくプライベートの場で、長い間ドイツで生活していたという話を聞き、随分参考になる話があった。〇〇委員が言われたように、時期が来たから切るというのではなく、何かで繋げてもらうとよい。ここで育っている人間は外のことは全くわからない。
- 懇親会や、外部へ自費で行くようなチャンスがあったら連絡をとったほうがよい。
- 〇〇委員に限らず他の委員だった方々とも交流を持つことで、そういう方たちが「ファシリテーター」として何らかの位置づけに行く形もあるかもしれない。斬新な意見をありがとうございます。

また、府中市は都市社連協で狛江、三鷹、小金井、武蔵野、調布と共に第五ブロックに所属しているが、その方たちとの交流や勉強会もいいかなと思う。

- ➡ ここ数年、第5ブロックのメンバーは非常に仲良くやって頂いている。他のブロックにない連携が取れている。それも併せて育てて頂くと楽にやって頂けるのではないかと思う。
- 懇親会ということであれば、差し支えなければ委員、事務局の枠を取り払って前任の山村元副主幹も是非。
- 新しく委員になられた方々は生涯学習センターには来られることがあるのか。
- 講座にでている。
- 近くに文化センターがあるので時々図書室を利用する程度。
- 生涯学習センターの講座の内容によって「学び返し」をしやすい内容か、また自主グループの活動においても「学び返し」に直結しやすいものとそうでないものの中でどうやって「学び返し」をしたらいいのか、工夫が必要だと思う。そういった意味において例えば講座の内容に関してもこちらから助言させて頂くような権限があればより進め易いのではないかと思う。或いはある面で強制力（という言い方は変かもしれないが）、すなわち「学び返し」をするという前提に、自分たちがどのよ

うな形で「学び返し」ができるのかということ、自主グループの人たちにも考えてもらう等、お互いに相互関係が持てれば良いと思う。

■ そこまでいくには自主グループの問題等あると思うが、「権限」という部分は事務局としてどういうお考えか。

➡ 毎回頂く答申の中に皆さんから頂くご意見等については、市の方で予算や政策の中で反映できるよう極力やらせて頂いている。ただ、予算にも限りがあるのですべて実現させるというわけにはいかないが、頂いたご意見は尊重、反映させて頂くようにはしている。

■ 権限という言葉は少々行き過ぎた言い方で申し訳ない。

➡ 先程も指定管理者の話があったが、先に昨年7月審議会の方から「こういう形で指定管理を導入したらどうか」という意見を頂き、その後内部で検討した。細かいタイトルまでというわけにはいかないが、大体こういう方向性の講座をやったらどうかという意見は毎回頂いている。講師の調整もあるが、ある程度寛容させられるものはしている。また指定管理制度が入って来ると業者に任せる部分も出てくるので、市の意向を伝えた上で管理事業者にやって頂く、その際にも出てくる意見は尊重させて頂いて進めていくことになる。

■ 答申の中に私達の意見でしっかり織り込んでいけばそれが生かされるということになっていく。

➡ 審議会の意見というのも入っているので実現できるものはやっついこうと思う。但し時間のかかるものもある。特に文化センターは組織が分かれている。学習センター自体はもともと教育委員会の施設だが文化センターは複合した施設のため別の管轄になっている。当方の責任ではできないことになっている。

■ 今後の進め方については次回諮問を頂いた中でもう一度きちっと練り直してやっていきたいが、それでよろしいか。

(全員一致)

■ 時間があったら次回の進め方について考えておいて下さい。

6 その他

次回審議会について

5月23日(月)午後2時～4時 (変更の可能性あり)

府中市役所北庁舎3階 第5会議室